

編集後記

技術室報告第5号をお届けします。これで途絶えることを心配しなくても良さそうです。これからもたくさんの職員の投稿・協力があることがわかったからです。

今年はトピックスの多い年になりました。南から「風カモメ」の報告が届けば、北では「IUGG」に2画面ディスプレイを展示し、宇治キャンパス公開では「宇治川オープンラボ公開実験」に参加し、若手は「科学の祭典」に出展する。12月には5名も海外に出張する特異な出来事もありました。技術職員の活躍の場が今後ますます大きく広がることを予感させます。技術職員もがんばりますので、研究所内外のみなさまにもよろしくご指導・ご支持をいただきますよう期待しております。

研修報告も多量にあり、大いなる技術の展開を期待させます。私にはこの編集が技術室での最後の仕事になりますが、今後のみなさまの活躍を祈っております。

2004年3月 多河 英雄

《出版委員》

和田 博夫	機器開発班
吉田 義則	企画情報班
松浦 秀起	企画情報班
藤原 清司	機器運転班
平野 憲雄	室長
中尾 節郎	企画情報班
多河 英雄	企画情報班
高山 鐵朗	観測班

技術室報告

第5号

2004年3月 発行

発行者 京都大学防災研究所 技術室

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

Tel 0774-38-4290 Fax 0774-38-4291